

「こおりやまの米」通信



GOOD RICE DAY
毎月8日は
こおりやま「お米の日」



生育状況速報(7月15日現在)

編集:郡山市

JA福島さくら郡山統括センター (Tel.024-921-0503)

NOSAI福島中央支所 (Tel.024-933-3307)

県中農林事務所農業振興普及部 (Tel.024-935-1310)

発行:郡山市農作物生産対策協議会

(郡山市園芸畜産振興課

Tel.024-924-3761)

1 生育状況

(1) 肥料・農薬展示ほ・作況ほにおける生育概況(7月15日現在)

各水田の調査結果は、以下の表のとおりです。平年に比べて、草丈は長く、茎数は多い傾向です。また、葉色が平年よりも淡く、幼穂長は平年よりも長いほ場が多く、「ふくひびき」では出穂を確認しました。

*** 移植時期等によりばらつきが大きいので参考程度とし、自身のほ場の生育ステージを確認してください。**

生育調査結果(7月15日現在)

品種	地区	移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉齢 (葉)	葉色値 (カラスケール値)	葉色値 (SPAD502値)	幼穂長 (mm)
コシヒカリ	田村	5月5日	81.4 (111)	473 (99)	12.0 (0.7)	2.5 (-1.0)	30.5 (-5.9)	12.0 (6.9)
コシヒカリ	三穂田	5月12日	74.3 (102)	476 (90)	10.9 (-0.1)	3.0 (-0.8)	35.6 (-5.0)	1.8 (0.4)
コシヒカリ	富久山	5月12日	81.9 (106)	448 (115)	10.6 (-0.3)	3.0 (-0.7)	38.3 (-0.0)	10.0 (4.2)
コシヒカリ	日和田	5月4日	83.2 (107)	550 (102)	10.7 (-0.8)	3.5 (0.1)	34.2 (-4.4)	10.0 (7.2)
ひとめぼれ	熱海	5月14日	69.7 (117)	432 (104)	10.5 (0.9)	3.5 (0.1)	36.3 (4.0)	2.2 (-3.3)
ひとめぼれ	喜久田	5月13日	77.0 (124)	540 (111)	10.2 (-0.9)	3.5 (-0.4)	41.8 (2.6)	16.7 (14.6)
天のつぶ	三穂田	5月16日	73.3 (105)	514 (104)	10.1 (-0.8)	4.5 (0.1)	40.0 (-2.6)	4.7 (-0.8)
里山のつぶ	湖南	5月13日	74.1 (124)	483 (100)	9.8 (-0.6)	4.5 (0.5)	36.8 (-1.5)	27.2 (17.0)
ふくひびき	喜久田	5月19日	87.1 (126)	345 (81)	11.0 (1.0)	3.0 (-1.8)	42.0 (-1.8)	出穂始め (1.6)*
直播天のつぶ	喜久田	5月18日	57.7 (102)	482 (91)	7.5 (-2.4)	4.0 (-0.6)	44.6 (0.3)	0.0 (-0.2)

* ()内は平年比(%)又は平年差、「ふくひびき」の幼穂長では平年値を記載

* 「直播天のつぶ」は移植日の欄は播種日

(2) 福島県農業総合センターにおける生育概況

作柄解析試験(慣行栽培、5月15日移植)では、平年に比べ草丈は長く、茎数は少なく、葉色は淡い傾向です。幼穂形成始期は、平年に比べひとめぼれで4日早く、天のつぶで1日早く、到達しました。

高温により、各品種とも生育ステージが早まっています。出穂後も高温で経過することが予想されていますので玄米の品質低下に注意が必要です。また、高温により刈り取り適期も早まりますので、刈り遅れに注意してください。

【管内主要品種の生育ステージ】(7月15日現在、福島県農業総合センター作況ほ)

品種	年次	移植日	幼穂形成 始期	出穂期	成熟期
ひとめぼれ	本年	5/15	7/ 8	(7/29)	(9/ 4)
	前年	5/15	7/ 8	7/30	9/ 6
	平年	5/15	7/12	8/ 2	9/13
里山のつぶ (湖南)	本年	5/15	7/ 8	(8/ 1)	(9/10)
	前年	5/23	7/11	8/ 1	9/10
	平年	-	7/14	8/ 5	9/14
天のつぶ	本年	5/15	7/11	(8/3)	(9/10)
	前年	5/15	7/10	8/ 1	9/ 9
	平年	5/15	7/12	8/ 4	9/14
コシヒカリ	本年	5/15	(7/16)	(8/ 6)	(9/13)
	前年	5/15	7/14	8/ 5	9/12
	平年	5/15	7/19	8/ 9	9/19

※里山のつぶ(湖南)は、県中農林事務所作況ほ

※幼穂形成始期:主茎の80%以上の幼穂が1mmに達した日

※出穂期:全穂の約半分が出穂した日。

※成熟期:全体の稔実籾の80%以上が黄化した日

※()内は高温で経過した場合の予測。

2 今後の管理

(1) 適期作業と高温対策

昨年よりも出穂期が早まることが予想されます。各防除作業の適期も早まりますので、逃さないようにしてください。

また、出穂期以降の高温により、未熟粒が増加し品質が低下することがあります。出穂期以降の高温が見込まれる場合は、「高温対策特集号」を参考に出穂期追肥などを検討してください。

(2) 病害虫防除

斑点米カメムシ類は、県内全域で発生時期はやや早く、発生量が多いので、適切な防除により、斑点米の発生を防いでください。斑点米カメムシ類の防除適期は「乳熟期(出穂期の7～10日後)」です。畦畔の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田へ追い込まないようにするため、出穂の10日前までに済ませてください。

また、紋枯病が近年増加傾向です。過去に発生が多かった水田では、株元を観察し、適期防除を心がけてください。